

開閉試験

依頼試験 17.1.6 開閉試験 [5000回につき]	一般:15,250円・中小:11,230円
開閉試験 (同一試験の追加) [5000回につき]	一般:8,660円・中小:6,200円
機器利用 8.13.1 開閉試験装置 [1時間につき]	一般:820円・中小:580円

※機器利用では、例えば、料金表の7.1 交直流安定化電源(大型特殊電源)、8.12 可変抵抗器(誘導負荷)、8.29 AC/DC電流測定用センサシステム等をご組み合わせご利用できます。

開閉試験は、配線器具の開閉器・点滅器等を対象として、電氣的負荷をかけた試験品の接点における耐久性・信頼性を評価するために行います。

※依頼試験は、JIS C8306の試験条件で対応しています。



試験器仕様

メーカー	アイコーエンジニアリング株式会社
型番	特注品
開閉(ストローク往復)速度	毎分10回から毎分60回まで
最大ストローク	75mm (1軸方向の往復動作のみ可)
使用可能な電源及び負荷	電源:①、②、③のいずれか、負荷:④
操作治具	申込者にて御用意いただく必要があります

JIS C 8306-1996 配線器具の試験方法

10. 開閉試験

600V以下の低圧用配線器具は、JIS規格において試験方法が定められており、過負荷試験と定格負荷試験の2種類があります。

過負荷試験では、ストローク速度(開閉の割合)が遅く、また、試験電流も定格よりも大きい電流で、100回前後開閉します。

定格負荷試験では、ストローク速度が比較的速く、定格電流で、5000回(または定格回数)開閉します。

開閉試験

操作治具の例

開閉試験機の治具（ロッカースイッチが対象）：

- ロッカースイッチに沿ってワークが上下する
- ロッカースイッチに沿う部分は、車輪（コロ）が回転する
- ロッカースイッチに応じて、重りを載せることができる
- 動作は下の図の流れで、
①→②→③→④→③→②→①
を繰り返す

